



「五ヶ瀬中学校校歌より」

学び舎

五ヶ瀬中学校 学校便り
令和5年11月28日 No.8
文責:校長 永 富 雅 樹

校内駅伝・ロードレース大会が開催されました

11月22日にGパークで校内駅伝・ロードレース大会が実施されました。当日は、晴天で気温も20度近くまで上がり、暖かい中で開催されました。

駅伝の部門では、男女2名ずつの4区を各クラス2チーム(1年生は1チーム)出場して競いました。選手は力の限りを尽くして走り、見ている人たちに十分伝わってくるものでした。その後の男女別のロードレースでも、長距離が苦手な生徒も最後まで走り切ってくれていました。



この持久走は、自分との戦いで、生徒皆さん不安もある中、見事に打ち勝ってくれたと思います。



さらに、走る姿とともに、応援する姿が素晴らしく、多くの生徒が大きな声で心のこもった声援をしていました。この姿こそが、五ヶ瀬中生のいいところの一つで、これまでの伝統でもあると思います。この上級生の姿を見て、下級生は引き継いでいってください!

- ◇ 駅伝の部
1位:2年Bチーム 2位:3年Aチーム 3位:2年Aチーム
- ◇ ロードレースの部(団体)
優勝:2年生 2位:3年生

全校生徒による話し合いを実施しました



6月に実施した生徒総会での中心議題に関して、10月31日に、具体的な対策について、全校生徒による話し合いを実施しました。議題の内容は「どうすれば相手の気持ち良くなる言動ができるのか」でした。当日は、体育館で全校生徒を全学年が入るように11グループに分けて、①現状把握(悪口や敬語について)、②原因、③改善方法の3つについて話し合いが進められました。その後、全校生徒で各グループの発表を通し、振り返りを行いました。



各グループから具体的な改善案が出された中で、「相手のことをしっかり考える」「安易に同調しない」という意見を出したグループもありました。これらの意見は、自分で考えて行動できる人につながるのだと思います。これからの生活で人と接していけば、自分の考えとは違ったり、いろいろな考えの人がいたりする経験をするでしょう。あらゆる場面で「相手のことをしっかり考える」「安易に同調しない」ことを実行することは難しいことでしょう。それでも、みなさんには、少しずつでも取り組んでいって、成長して欲しいと感じました。

県中学校秋季体育大会結果

11月4、5日に宮崎市で開催された大会に、本校から地区予選を勝ち抜いた生徒が出場しました。結果は、以下の通りです。県大会のレベルを感じた生徒は、この後の練習に生かして欲しいです。

- ◇ 剣道・男子団体
 - ・予選リーグ1勝2敗(敗退)
- ◇ 剣道・男子個人
 - ・戸高颯海、興栞心、甲斐翔也
 - ・初戦敗退
- ◇ ソフトテニス個人
 - ・岡・山下ペア(初戦敗退)
- ◇ 陸上
 - ・100M:藤木心春 予選6位
 - ・200M:藤木心華 予選2位、決勝6位

重松 清氏講演会

11月27日に高千穂町武道館で、高千穂高校の文化芸術振興事業として直木賞作家の重松清氏の講演会に2年生が参加しました。当日は、高千穂高生に郡内の中学生も参加して、20人の代表生徒とともに特別授業が行われました。本校からは佐伯濤架さんと興栞美天さんが代表で五ヶ瀬町の良さや感想を発表してくれました。重松さんからは、「やさしさとは?」「いろいろな考えの人がいるからいい」「ふさわしいことばをさがしてくる取組をして欲しい」などの多くのメッセージをいただく貴重な時間となりました。

